

## 地球温暖化対策に本気で取り組むことを求める意見書

2018年の夏は、気温など気象状況は、異常ともいえる高温が続き、各地で観測史上最高の気温が記録され、熱中症による死亡者も各地で発生する事態となった。豊岡市においても8月22日に39.1度という観測史上2位の気温となった。

また、台風の発生も8月に9個もの発生を見るなど記録的な状況となっている。多くの国民が近年の天候の異常さを痛感するところである。

地球温暖化対策として20年前（1997年）に国際的な約束事として「京都議定書」が採択され、また昨年の「パリ協定」も、地球温暖化防止対策に向けた取り組みを各国に求めている。温室効果ガスの削減目標をすべての国が実現すること、さらに、すべての企業が協力・努力することが求められる。温室効果ガスの発生を抑えることが求められる中で、再生可能エネルギーへの転換を図るべきと考える。

よって、国においては、持続可能な社会の構築に向けて下記の取り組みを行うことを強く求める。

### 記

- 1 京都議定書を結んだ国として、地球温暖化対策で、世界のリーダーとして主導的な役割を果たすこと
- 2 温室効果ガスの削減目標が実効性あるものとなるよう、すべての企業・自治体に目標実現を求めること
- 3 地方自治体における省エネ、再エネ、環境学習、環境にやさしいライフスタイルへの転換などの取り組みやイノベーションの創出、気候変動に対する適応のための施策に対して財政面を含め強力に支援すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月28日

豊岡市議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
経済産業大臣  
環境大臣

殿